

議会だより 入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

No. 206

2023年7月27日

中央公園で水遊び

6月
定例会

じゅわ〜と
にゅぜん

主な内容

補正予算の概要	...	2P
常任委員会レポート	...	5P
政務活動費の収支報告	...	6P
特別委員会レポート	...	7P
代表・一般質問（5議員）	...	9P
事業紹介（入善町の防災対策）	...	14P

高齢者等に支援

6月定例会の
あらまし

6月定例会は、6日から21日までの16日間開会し、町長から提案された令和5年度補正予算2件、令和4年度一般会計補正予算など専決処分事項の承認4件、条例の一部改正など議案7件、議員提出議案1件について審議し、すべて可決した。また、泉英明氏を入善町名誉町民とすることに同意したほか、入善町農業委員18人の任命について同意した。さらに、黒東合口用水組合議会議員の選挙を行った。

補正予算の概要

一般会計補正予算の主な内容は、昨年より続いている物価高の現状を踏まえた物価高騰対策として、対象年齢の方へくらし応援商品券の支給や福祉施設への支援金支給、低所得世帯への給付金支給、公共交通事業者へ補助金を交付する事業費などである。

また、10月に開催する入善町合併70周年記念式典において名誉町民の推戴式を執り行うための事業費の計上である。

歳入、歳出ともに1億3669万円を追加し、総額138億1511万円とした。

◎主な事業

○子育て世帯・高齢者くらし応援事業

5762万円

エネルギー価格・物価高騰などによる経済的負担を軽減するため、18歳以下の

子どもをもつ保護者と75歳以上の方を対象にくらし応援商品券を支給する。

○障害者福祉対策費
在宅介護支援事業費 100万円
350万円

町内の社会福祉施設が負担する光熱費などが高騰する中においても、福祉サービスの安定した提供体制が確保できるよう、障害者福祉施設および高齢者福祉施設に対して支援金を交付する。

○住民税非課税世帯等物価高騰支援事業費 5850万円

エネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けている低所得世帯に対し、一世帯あたり3万円の給付金を支給する。

○公共交通運輸対策事業費 981万円

エネルギー価格高騰の影響を受けている公共交通事業者の負担を軽減し、事業の存続を図るため、燃料費増額分の一部を支援する。

工事契約を議決

予定価格が5000万円を超える公共工事の請負契約について可決した。

○合併70周年記念式典事業費 302万円
名誉町民に推挙された泉英明氏（入善町道市出身）は、寄付を通じて町の青少年育成に寄与されており、町は記念式典において推戴式を執り行う。

○入善町民会館公民館系統空調設備更新

工事請負契約
請負者 株式会社吉田工務店
請負金額 1億896万円

○入善海洋深層水送水機械棟 機械設備

工事請負契約
請負者 有限会社新田配管工業
請負金額 7645万円

○入善町新庁舎整備事業 車庫棟建設

工事請負契約
請負者 吉原建設株式会社
請負金額 1億1550万円

物価高騰で子育て世帯、

議員提出議案

入善町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について

地方自治法の改正に伴い、町議会議員と町との間の請負に関する規制が緩和され、政令で定める一定金額（300万円）までは、議員個人による町との請負が規制の対象から除外された。

町議会議員の請負の状況の透明性を確保し、もって議会の運営の公正および事務の執行の適正を図るため、議員の請負の状況の公表に関し、必要な事項を定める。

賛成全員で可決

議案に関する討論

反対討論 井田 義孝 議員

入善町税条例の一部改正は、個人町民税に森林環境税を上乗せ徴収するものだ。森林を管理してきた林業は、歴代政権の外材依存政策のもとで危機に瀕している。森林のCO2吸収源対策や公益的機能の確保は本来、国やCO2排出企業の責任で行うべきで、国民個人に押し付けるのはおかしい。このような税金を個人町民税に上乗せして徴収する条例改正には反対だ。

賛成討論 元島 正隆 議員

昨年来、エネルギー価格をはじめとした物価の高騰が続いており、電気代も大幅に値上げされた。町民も事業者も困窮しており、早急な対策が求められる。

今回の補正予算では、町民や社会福祉施設、公共交通事業者への支援策が盛り込まれており、時宜を得た補正予算であると高く評価する。

また、その他にも自治公民館に対する「コミュニティ助成事業」や担い手農家に対する「経営体支援事業」はそれぞれのニーズに対応した助成事業であり、その事業認可などに取組んだ町当局の努力に對しても高く評価する。

条例の一部改正

次の条例案を審議した。

○入善町税条例の一部改正について

賛成多数で可決

○入善町印鑑条例の一部改正について

○入善町保育所条例の一部改正について

○入善町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び

入善町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

以上3件について賛成全員で可決

農業委員会委員の任命

現在の委員が7月19日に任期満了となるため、新たな農業委員会委員18名の任命に同意した。任期は令和5年7月20日から3年間。

黒東合口用水組合議会

議員の選挙

7月26日で任期満了となる黒東合口用水組合議会議員を選挙した結果、入善町選出の組合議員として12名が当選した。任期は7月27日から4年間。

臨時会 4月20日

4月臨時会は、令和5年度一般会計補正予算1件を審議し賛成全員で可決した。

○低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費 822万円

食費等の物価高騰に直面し、特に影響を受ける低所得の子育て世帯に対し、児童一人につき5万円の子育て世帯生活支援特別給付金を支給する。

4 月臨時会の議決状況

		鍵 田 昭	池 原 純 一	岡 島 功	井 田 義 孝	本 田 均	中 瀬 淳 哉	田 中 伸 一	五 十 里 国 明	佐 藤 一 仁	松 澤 孝 浩	松 田 俊 弘	元 島 正 隆
議案第27号	令和5年度入善町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

6 月定例会の議決状況

承認第2号	令和4年度入善町一般会計補正予算(第13号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第3号	入善町税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第4号	入善町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第5号	入善町地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	令和5年度入善町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	入善町民会館公民館系統空調設備更新工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	令和5年度入善町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	入善町税条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第32号	入善町印鑑条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	入善町保育所条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	入善町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び入善町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	入善海洋深層水送水機械棟 機械設備工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	入善町新庁舎整備事業 車庫棟建設工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第2号	入善町名誉町民の推挙について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第3～20号	入善町農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第3号	入善町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
選挙第3号	黒東合口用水組合議会議員の選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」：賛成、「×」：反対、「欠」：欠席

常任委員会レポート

総務 常任委員会

青木地区で2団体が
こども食堂を運営中

Q 町内のこども食堂の
状況はどうか。

A 昨年度2団体が青木
地区に設置された。

他にもう1団体が準備
中で開所は未定と聞いて
いる。

Q 2団体の取組みは。

A 1団体は民家を使っ
て、毎月6回程度活
動している。

もう1団体は、旧8号
線沿いの建物を借用し、
不定期で、年3回開催し
ている。

Q 子ども食堂の開設は
行政上の許可が必要か。

A 許可は必要ない。
登録制である。

宝くじ助成に内定し
た団体は3団体

Q 宝くじ助成300万
円の内容は。

A 一般財団法人自治総
合センターによるコ
ミュニティ助成事業だ。

東五十里地区、芦崎地
区、小摺戸上部地区の3
団体が内定した。

東五十里地区は、公民
館のテーブル・椅子、座
敷用のチェアなどの購入
だ。

芦崎地区は公民館の工

アコン、複合機、テーブ
ル等の購入だ。

小摺戸上部地区は、公
民館のストーブ、防災
カーテン、椅子などの購
入だ。

当初250万円を予算
措置していたが、今回
300万円を補正した。

物価高騰で24の社会
福祉施設に支援

Q 町は今回、原油価格
等の高騰で影響を受
ける福祉施設の支援に、
合わせて450万円を計

画している。

対象となる施設はどの
ような施設か。

A 障害者福祉施設につ
いては4事業者、高
齢者福祉施設については
20事業者が対象になる。

定員50人以上の施設は
40万円、その他は20万
円だ。

また、通所系や訪問系
にも一定の支援がされる。

新設された風車の固
定資産税は

Q 新設された風力発電
設備3基分の固定資
産税はいくらか。

A 町に固定資産税は入
ってくるが、個人情
報なので公表できない。

森林環境譲与税は園
山植樹に一部使用

Q 国から森林環境譲与
税が町へ配分されて
いるが活用状況は。

A 園家山の松の植樹に
使った他は積立して

いる。また、庁舎整備の
木材利用に充当を考えて
いる。

今後は、緑の関係の復
旧活動や森林育成事業と
して検討していく。

産業教育 常任委員会

エネルギー価格高騰
に支援

Q エネルギー価格高騰
による公共交通事業
者に980万円余りを支
援するとしているが、そ
の内容は。

A 国からの交付金を活
用するものだ。

あいの風とやま鉄道へ
934万円余りを補助す
る。

沿線自治体と県が協調
し、それぞれ2分の1ず
つ負担する。入善町は沿
線自治体の10・8%相当
の負担だ。

またタクシー事業者に
は1台につき月額150



あいの風とやま鉄道の電車

0円を1年間に渡り支援
する。

タクシー事業者には、
国も県も直接助成してお
り、町は県へ補助申請さ
れた方に対して上乗せ助
成するものだ。

農業経営発展に国が
支援を

Q 担い手育成対策事業
の内容は。また、町
も助成する考えはないか。

A この事業は、国の補
助事業である。

農家がこの補助事業を
利用して、より経営を拡

大し、利益率の向上に必要な機械を導入する際の補助事業だ。

補助率は事業費の10分の3で全額国が負担する。

対象となる機械は防除機と乾燥機で対象事業費は823万円余りだ。

国の補助が247万円、他は自己資金でまかなわれる。また、町からの助成は今のところ考えていない。

Q この事業の申請窓口はどこか。

また、計画書の提出が求められるが、町も作成に支援しているのか。

A 県が窓口であり、入善であれば、新川農林振興センターが最初の窓口になる。

計画書作成については、町や営農指導員、新川農林振興センターが支援をしている。

内水面のポンプ設置に町が補助

Q 今回補正の43万円余りは内水面のポンプ

設置にかかる費用だと聞いているが、今後、建屋を建設する場合などに町は新たに助成するのか。

A この事業は「浜の活力再生プラン」という国の補助事業だ。

サケマスの養殖事業にかかる整備のうち、海にかかわる部分が補助対象で、井戸の更新や蓄養施設までの管の更新が対象だ。

補助率は国50%、県25%、入善町と黒部市がそれぞれ2・5%ずつ補助する。残り20%は自己負担だ。



黒部川内水面漁業協同組合

令和4年度 政務活動費の収支報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

令和4年度の政務活動費は、次のように使われました。政務活動費は、議員が町に関する施策を調査研究するために必要な経費の一部として会派に交付されます。所属議員一人当たり年額12万円(1万円/月)を上限に実績分が後払いされます。

領収書などは町ホームページで公開されており、議会事務局での閲覧もできます。

(単位：円)

会派名		アクト	自民清流会	日本共産党	結芯	合計
代表者名		元島正隆	佐藤一仁	松田俊弘	岡島 功	
所属議員数		7人	4人	2人	1人	
政務活動費の対象経費	調査研究費					0
	研修費					0
	広報費			126,500		126,500
	広聴費					0
	要請・陳情活動費	376,790	112,300	50,850		539,940
	会議費					0
	資料作成費					0
	資料購入費			44,086		44,086
	合計	376,790	112,300	221,436	0	710,526
政務活動費交付額		376,790	112,300	221,436	0	710,526
政務活動費交付執行率		44.9%	23.4%	92.3%	0.0%	42.3%

環境・上下水道対策特別委員会レポート

6月16日に環境・上下水道対策特別委員会が開催され、令和4年度下水道特別会計の決算状況や今後の計画などについて報告を受け協議した。

これまでの経緯から

11年前に使用料

値上げの提案

町当局は、平成24年に下水道特別会計が赤字になるので、使用料を値上げしたいと提案した。

しかし、値上げは住民にとって新たな負担となることから、議会では特別委員会を設置し、決算や将来見通しの報告を受け改善策を求めてきた。

これまでの

委員の意見

○町は下水道を整備する際に、合併処理浄化槽よ

り安上がりになると町民に言ってきた。一般会計から繰入れてでも値上げは避けるべきだ。

○汚泥の処理方法や再利用などの研究を進めるべきだ。

○国の研究会は、地方の下水道会計が厳しいとして、国の支援策を抜本的に見直すべきとしている。

早期の支援の拡充を求めていくべきだ。

○値上げは致し方ないが、事前に町民に十分な説明をすべきだ。

これまでの町の取組み

町は「安易な値上げはしない」として様々な取組を行い、赤字となるとされてきた時期は毎年先送りされてきた。

町の取組例

○小摺戸浄化センターを廃止して、汚水処理を入

善浄化センターに一本化した。

○浄化センターの敷地内の風力発電装置は、国の補助を得て設置されたので、本来は売電できなかった。この補助金の一部を一般会計から返還し、北電に売電できるようにした。



入善浄化センター

○黒部市愛本新地区の汚水を町で受け入れ、処理費用を黒部市から負担してもらっている。

今後、愛本地区も対象とするための準備を進めている。

昨年度の決算状況から

歳入約13億8千万円のうち使用料収入は約4億円。歳出約13億6千万円のうち借入返済が約9億9千万円。

今年度への繰越金は1378万円で、年々繰越額は減っている。

2年後から赤字見通し

今回の町の将来見通しでは、令和7年度から赤字になる見込みは先送りできなかった。

町の下水道整備工事は来年で終了する。さらなる下水道財政の精査と国の支援の動向などを注視していく必要がある。

議会改革特別委員会レポート

6月21日に議会改革特別委員会が開催され、議会への一部支給が、近年議員報酬について、これまでの経緯や今後の方向性について協議した。

これまでの経緯

現在、入善町議会議員の報酬は29万4千円だ。

平成14年に議員の報酬を答申する諮問委員会でも2%削減され、現在に至っている。

委員の主な意見

○議員のなり手不足を考えると、この報酬で今の生活を变えるリスクを負えないと言う声が強い。報酬を上げないと議員のなり手不足の解消はできないのではないかと。

○市議会議員と町議会議員の仕事は変わらないが、格差は甚だしい。

○これまで市議会以上の選挙活動でしか認められ

タブレット端末の導入に関する要望書の提出

議会のICT化の推進について、議会改革特別委員会でも議論が続けてきた。

ペーパーレス化やDX推進の観点から、新庁舎開庁に合わせて議会活動にタブレット端末の導入を求める方向で、全議員が一致した。

議会として町当局に端末導入の要望書を提出した。



タブレット端末

交通網対策特別委員会レポート

6月21日に交通網対策特別委員会が開催され、令和4年度の公共交通の利用実績などについて説明を受けた。

令和4年度の 利用実績

令和4年度の公共交通の利用実績は以下の通り。

収入	約1960万円	一日当たり平均利用者数	43・7人
年間経費	約595万円	新屋線	7531人
		舟見線	8194人
		（前年比94%）	
		利用者数合計	15725人

一人当たり経費

868円

デマンド交通

「ウチマエくん」

利用者数合計

13219人

（前年比101%）

一日当たり平均利用者数

42・8人

一時間当たり乗合人数

2・0人

年間経費

約1839万円

一人当たり経費

1391円

公共交通利用券の 利用状況

町では高齢者の運転免許自主返納を促進するとともに、免許返納後の外出支援を行うことを目的に、町内の公共交通機関で利用できる「公共交通利用券」を交付している。年3万円で3年間交付される。利用率は60%余りとなっている。

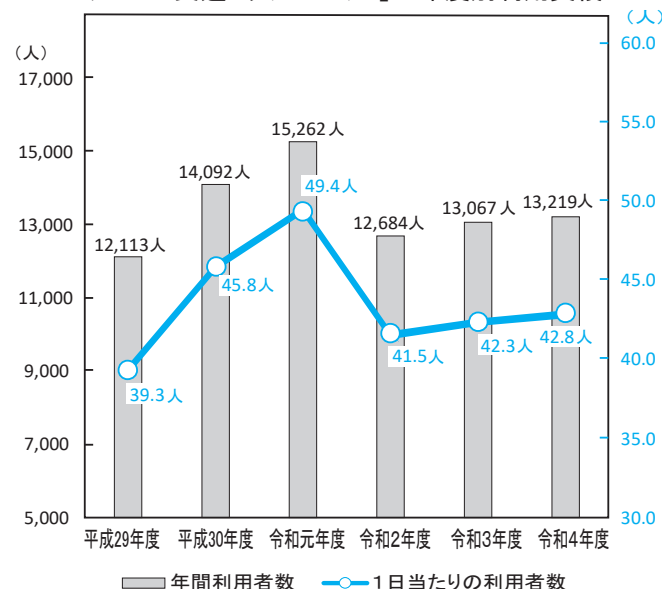
令和4年度交付者数

345人

免許返納者数

162人

デマンド交通「ウチマエくん」の年度別利用実績

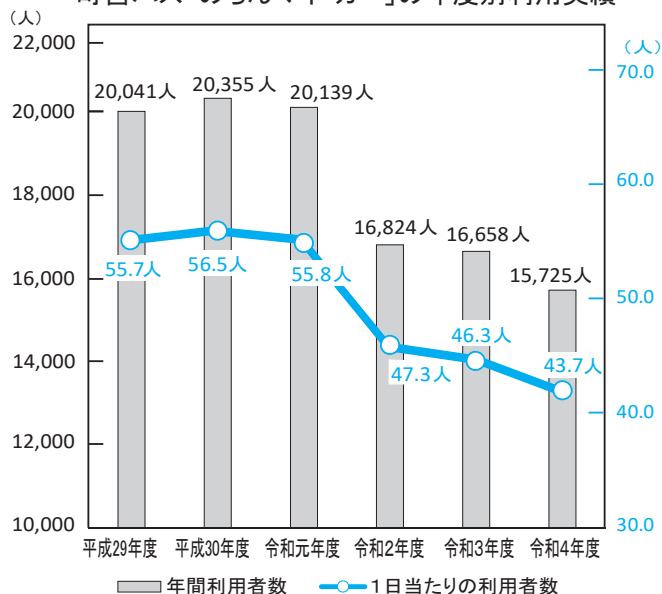


委員の主な意見

当局的説明を受け、委員から多くの質疑や意見があった。その一部を紹介する。

- ウチマエくんの運行時間の開始が8時30分からであるが、予約センターは9時からとなっている。そのタイムラグをどうにかできないのか。
- 1時間前予約ではなく、30分前予約にできないのか。
- 朝や午後の予約が取れないとの声があるが、車両を大きくしたり、台数を増やしたりすることはできないのか。
- 利用率を上げるためには、高齢者だけではなく学生にも使ってもらえるようにすべきではないか。
- 予約をネット経由でもできるようにするなど、デジタル化を進めていくべきではないか。

町営バス「のらんマイ・カー」の年度別利用実績



デマンド交通「ウチマエくん」

人口減少問題 施策の実績と評価は

町長

不妊治療には大きな成果だが

人口減少には歯止めがからず

問 町は、最重要課題である「ストップ人口減少」の実現に向けた取り組みを行ってきたが、それら施策の実績と評価は。

- 1「子どもを生み育てやすい環境づくりによる出生数の増」
- 2「健康寿命の延伸による人口の自然減の抑制」
- 3「IターンやUターンの促進と地域活性化による人口の社会増の推進」



もっといい街、住みよい入善

笹島町長 私の政治信条である「もっといい街、住みよい入善」をまちづくりの基調に、その最大のテーマの「ストップ人口減少」を実現するため、様々な取り組みを進めている。

時にはこれまでの常識に捉われない大胆な施策にも取組んできた。

出生数を増やすために、出会いと結婚の創出が必要不可欠であり、他の自治体に先駆けて、未婚化や晩婚化を行政が取り組むべき課題と捉え、「それ行け！結婚プロジェクト」を立ち上げ、結婚に向けたサポートを開始した。

その結果、累計244組のカップルが成立し、16組の成婚へと、成果が着実に現れているものと考えている。

また、「子どもを産みたい」という思いを受け止め、不妊治療や不育症治療に対し、回数や年齢に制限を設けることなく、自己負担額の9割を助成し、子どもを授かりたいという夫婦の切実な願いを叶えてきた。

年間、延べ100件を超える申請があり、多い年では20人を超える出生がある。これは町の1年間の出生数の2割近くにもなる非常に大きな成果と捉えている。

加えて、子どもの医療費18歳まで無料化や町内の産婦人科医院などの協力のもと、産後ケア事業の充実など事業を充実させた。

また、保育料の軽減策、副食費も無償とするなど、子育てに係る経済的な負担の軽減にも対応している。

このように、結婚、妊娠、出産、子育て、保育や小・中学校への進学といったライフ・ステージごとの「切れ目のない支援」は、全国でも屈指の子どもを産み育てやすい環境を実現しているものと自負している。

また、若者から高齢者まで、すべての町民の健康づくりに減塩運動に取り組んでいる。

さらには、居住地に左右されない新たな働き方や暮らし方が注目される中、地方移住への関心が急激に高まっている。

このような、社会の潮流を契機として、入善町が選択される町となるよう積極的な情報発信や町のPRにも努める。

また、効果が現われている一方で、結果として人口減少に歯止めはかかっていない現実を真摯に受け止め、今後ストップ人口減少の実現に邁進していく。

○その他の質問
・空き家対策について
・再生可能エネルギーの活用による観光振興について



池原 純一 議員（会派 アクト）



再整備や休憩所設置がのぞまれる園家山周辺

園家山キャンプ場周辺の再整備に取組め 町長 自然環境を生かした園家山らしい 施設の整備を目指す



佐藤 一仁 議員（会派 自民清流会）

問 コロナ禍でキャンプ人口が増え、町内では、海岸でキャンピングカーなどが見受けられた。園家山キャンプ場周辺

にオートキャンプ場を整備してはどうか。

笹島町長 近年、園家山キャンプ場の利用者が増えている。昨年度は、4427人が利用した。

オートキャンプ場も新たな魅力になり得る取組みだが、車のスペースや安全の確保などの視点からの整備が必要になる。

自然環境を生かした、園家山らしい施設の整備を目指して調査・検証を進めたい。

問 園家山湧水池公園の環境が悪化している。池の水を透明にするための、根本的な再整備が必要だ。

町長 地区の皆さんや委

託業者によって定期的な草刈りを行っているが、雑草が生い茂る時期がある。また、水の循環が悪くなり、水質の悪化も進みつつある。

再整備となると多額の費用が必要だ。適切な維持管理により、公園としての魅力を高めながら、協議を重ねたい。

**シニアカー購入補助や柔軟な免許返納助成を
必要性は十分認識しており研究していく**

問 高齢者の外出支援策として、シニアカーの購入費に補助制度を設けてはどうか。

腰本保険福祉課長 高齢

者が、運転免許返納や身体的衰えで、自動車の運転ができなくなることは、通院や買い物などの外出に支障をきたすとともに、外出機会や社会参加が減ることになる。

町では公共交通の運行や、免許返納者へ公共交通利用券の補助をしている。シニアカーは35万円前後と高額になることから、購入費の一部を補助している自治体もある。

一方、シニアカー利用者の交通事故も発生している。今後、町内の利用状況を把握しつつ、研究していきたい。

問 運転免許返納者への補助制度を、商品券の選択もできるような制度にできないか。

若林キラキラ商工観光課長

平成29年に公共交通利用券3万円分を3年連続で交付する事業を始め、利用率は6割を超える。用途を拡充した場合、公共交通による外出支援の効果が薄れるので、現段階では検討していない。

**パークゴルフ場の利用期間延長を
適切な維持管理に支障をきたす**

問 青野パークゴルフ場の利用期間延長を。

一島住まい・まちづくり課長 現在の期間設定は、雪解け後の芝生の養生期間を確保するためだ。

延長した場合、適切な維持管理に支障をきたす。良質なコースでプレーしていただきたい。

保険証と同等の資格確認書

申請漏れが無いように

保険福祉 申請の期待できない人には 課 長 職件で保険者(※)から交付する方針

問 マイナ保険証の誤登録は命に係る問題だ。

国民健康保険について
国から指示はないのか。
熊本保健福祉課長 7月

未までに点検・修正を行うよう通知を受けた。

問 健康保険証の廃止後もマイナ保険証を持たない人には、代わりに資格確認書が交付されるが、1年ごとに本人の申請が必要だ。

更新時に高齢者などの申請漏れがないように、対策を検討すべきだ。

熊本課長 国は、申請が期待できない人に、代理申請や職権で保険者から交付するという方針だ。

中小事業者や農漁業者に物価高の支援を
動向を注視し必要な支援を講じる

問 北陸電力の電気代が



松田 俊弘 議員(会派 日本共産党)

を含め支援が必要だ。
町長 JAや漁協などの関係機関と調整を図り、必要であれば速やかに対策を講じて行く。

インボイス制度で集落営農の負担増額は

平均的な規模の組織で約2百万円

問 10月から導入されるインボイス制度では、売り上げ1千万円未満の消費税の免税事業者が、新たに課税事業者となり適格請求書(インボイス)を発行しなければ営業で著しく不利になる。

笹島町長 日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金の借入への利子助成などを行っている。今後物価や燃料価格の動向などを注視し必要な支援策を講じていく。

若林キラキラ商工観光課長 金沢国税局によると、北陸3県の登録者数は7割程度で、町内事業者も同程度と推測される。

問 シルバー人材センターも負担増となるが、町内のシルバー人材センターへの影響はどうか。
熊本課長 令和3年度の実績による試算では、約1050万円となる見込みと聞く。

問 シルバー人材センターでは、事業運営が大変厳しくなることから、4月から利用料の中の事務費を2%引き上げた。
問 集落営農組織も消費税で負担増となるが、町内24の集落営農はどうか。
長島がんばる農政課長 正確に試算している組織は少ないが、経営規模が約50分の1の平均的な組織で、2百万円程度のことだ。

※保険者とは、健康保険事業の運営主体。



マイナ保険証読み取り機



町が運営する学童保育

学童保育値上げは子育て支援に逆行

白紙に戻して検討し直せ

副町長 受益と負担のバランスを考えた



井田 義孝 議員

問 町は月2千円だった学童保育料を4月から3年生までは3千円、6年生までは4千円に値上げした。しかも夏休みは新

料金の倍額になる。こんな大幅な値上げを、保護者の意見も聞かず3月23日に議決した後に初めて連絡したのは乱暴だ。

これでは町長が言ってきた「希望する子は誰でも受け入れる方針」も実質的に空洞化する。なぜこの料金なのか。なぜ夏休みは一気に倍なのか。なぜ高学年の方が高いのか。なぜこんな突然なのか。

値上げはいったん白紙に戻し、保護者や指導員とよく話し合い、適切な料金を時間をかけて検討し直すべきだ。

西島結婚・子育て応援課長 他市町村の状況も参考

に改定した。

竹島副町長 指導員の待遇改善を行う上で受益と負担のバランスを考えた。

若者の町への定着のため生活を支援すべき

町の特徴を活かし若者の定着を進めていく

問 入善町では「それ行け！結婚プロジェクト」をはじめ、移住定住や子育て支援に取組んでいるが、人口は減り続けている。

かつて一部の資格職に限られていた派遣労働が一般職にも解禁され、製造現場では派遣労働がどんどん拡大した。いまや20代の若者の半数以上が

非正規労働者だ。

派遣職員は非正規で給料も低く長時間労働なのに仕事量の都合でいつでも切られる労働形態だ。こんな状態で働かされては若者は結婚、子育てに展望を持ってない。

きちんと正規雇用して8時間働けば生活できる、昇給、ボーナスがある「普通の暮らし」を保障しなければ少子化は止まらない。

若者が結婚し子育てに入る前に、町に定着してもらうことが必要だ。町内での正規雇用への支援など若者の生活環境への支援制度をつくるべきだ。

若林キラキラ商工観光課長

笹島町長 町の特徴を活かし若者の定着を進めていきたい。

免許返納者への交通券柔軟な運用を

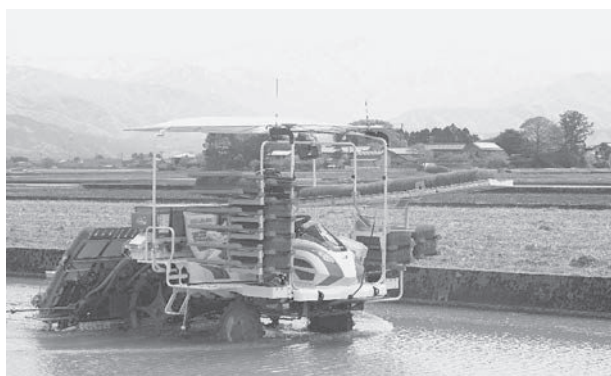
外出支援の趣旨が薄まる

問 町は運転免許を自主返納した高齢者に対し、年間3万円分の公共交通利用券を3年間にわたって発行しているが、難病や体調不良で免許返納した人は利用できず不公平だ。

家族の利用やシニアカーの購入利用を可能にし利用促進を図るべきだ。

若林課長 公共交通による本人の外出支援という趣旨が薄まるので変更は考えていない。

農地の集約化をどのように進めているのか がんばる 農政課長 地区ごとに目標地図を作成する



町の基幹産業を支える農家

問 町は、農地の集約化をどのように進めているのか。

長島がんばる農政課長

国は全国の市町村に地

域計画を策定することを義務化した。

計画では、地区ごとに

農業委員会を中心に農家や

関係者が協議し、目標地

図を作成する。この地図

は農地一筆ごとに、10年

後にはどの農家が利用す

べきかを表示したものだ。

7月以降から、各地区

で協議する場を設けて地

図の作成に取組む予定だ。

これを契機に集約化が

進むよう図っていきたい。

農家への利子補給の対

象拡充を

農協や金融機関との調

整も必要になる

問 農家の支援策とし

て、日本政策金融公庫や

JAからの融資に対して

の利子補給の対象の拡充

をしてはどうか。

長島課長 農業制度資金

の主なものには、日本政

策金融公庫によるスー

パール資金と農協や金融

機関による農業近代化資

金と2種類ある。

町ではスーパーL資金

に対してのみ、6年目以

降の利子に対して、3分

の1の町独自の助成を

行っている。

利子助成の拡充につい

ては、農協や金融機関と

の調整も必要となる。国・

県の助成の動向なども踏

まえ、見極めていきたい。

5年水張りルール

町の考えは

支援については国や県

に要望していきたい

問 国は5年間で一度も

水を張っていない農地

は、令和9年度以降、水

田活用の交付金の対象と

しないとしているが、町

の考えはどうか。

長島課長 実質畑地と

なった農地への交付を是

正するという面もあり、

やむを得ない部分もある

と考えている。

ルールが一部緩和され

たが、当町ではハウス内

で園芸作物を付けして

いる圃場が交付金の対象

外となる見通しだ。

町としては、その農家

への影響に対し、交付金

に代わる別の形での支援

について、国や県に要望

していきたい。

問 現庁舎の解体はいつ頃

を考えているのか。

笹島町長 既設の井戸設

備を用いて周辺世帯に給

水する簡易水道事業を現

庁舎で行っている。また

役場周辺地域を放送エリ

アとする防災行政無線の

屋外拡声子局を現庁舎に

設置している。

そのため現庁舎には、

解体までの期間、維持す

べき機能がある。

このような既存機能の

維持・移転等は、設備等

の場所や費用などを考慮

すると、現庁舎の解体時

期は、跡地利用の議論と

並行しながら検討を進め

るほうが合理的ではない

かと考えている。

跡地利用の議論と並行

しながら検討

現庁舎の解体はいつ頃

を考えているのか

を

考えているのか

事業紹介

入善町の防災対策

町では、様々な災害の万が一に備え防災対策を行っており、その一部を紹介する。

1. 自主防災組織への支援

自主防災活動の活性化を図るため、自主防災組織防災力向上支援事業補助金により、地区主体の訓練や研修会の実施及び資機材整備を支援している。

ア 地域防災活動事業

- ・補助率 100%
- ・補助上限 5万円
- ・近年の実績
(令和2年度～4年度)
延べ地区数 9地区
総額 約45万円

イ 防災資機材整備事業

- ・補助率 100%
- ・補助上限 5万円
- ・近年の実績
(令和2年度～4年度)
延べ地区数 12地区
総額 約60万円

ウ 集落等防災訓練実施事業

- ・補助率 100%
- ・補助上限 1万円
- ・近年の実績
(令和2年度～4年度)
延べ地区数 20地区
総額 約20万円

2. 防災士の育成

自主防災活動の指導的な役割を担う人材育成のため、防災士の充実を図っている。

・実績

- (平成25年度～令和4年度)
養成人数 43人
負担金額 約127万円

3. 緊急情報等メール配信の実施

災害情報などの緊急情報をメールで配信している。
・実績登録件数3636件
(令和5年3月末現在)

4. 災害備蓄品の整備

非常食や飲料水などの必要物資を購入し、消防防災

センターなどに備蓄している。使用期限が近づいたミルクは希望者に配布し、家庭における備蓄の啓発に有効活用している。
また、令和5年度から女性用災害備蓄品の整備に着手している。

主な備蓄品（非常食・生活必需品）

区分		保存年	令和4年度	累計	整備目標
非常食	クラッカー	5年	2,660食	13,090食	13,000食
	アルファ米	5年	50食	250食	250食
	えいようかん	5年	20食	100食	100食
飲料水 (500ml)		7年	—	14,662本	13,000本
生活必需品	粉ミルク (スティック)	1.5年	800本	992本	1,000本
	液体ミルク	1.4年	192本		
	〃 (アレルギー対応)	1.5年	8缶	8缶	8缶
	紙おむつ	—	—	141袋	137袋
	ほ乳瓶	—	—	100個	100個



(登録用QRコード)

入善町緊急情報メールの登録方法について

- ・左の登録用QRコードを読み取り、空メールを送信
- ・返信メールが届くので、本文中のURLのリンクをクリック
- ・受け取りたい情報を選び、登録

編集の窓

今年の梅雨後半は雨の降る日が多く、気分も沈みがちな人もいたでしょう。でも、この時期は梅雨ならではの美しい風景もありました。

雨上がりの空気が澄んで、新緑が輝いて見えることや、雨に濡れた花々が美しく咲いていることなどなど。

そんな中で私たちは町民の皆様に対して、議会広報誌の編集を行ってきました。とかく水害など暗くなるニュースが多い時期ですが、議会広報では少しでも、町民の皆さんの心が晴れる広報となるよう努力してまいります。

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 野島 浩 |
| 委員長 | 五十里 明 |
| 副委員長 | 松田 俊弘 |
| 委員 | 鍵田 昭 |
| 〃 | 池原 純一 |
| 〃 | 本田 均 |
| 〃 | 中瀬 淳哉 |